

令和3年2月18日

都内私立中学高等学校
校長 殿
関係教職員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 須藤 勉
特別調査研究会委員長 梶取 弘昌
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

東京私学教育研究所 特別調査研究会

オンライン

「学校づくり研究会 教育シンポジウム」のご案内

～未来の学校を考える～

向春の候 貴校益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて当研究所特別調査研究会では、下記のとおり「学校づくり研究会 教育シンポジウム」を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

当会では、平成26年度から「20年後の私学を考える」というテーマのもと、『学校づくり研究会』を発足させ、以来7年間、「未来の私学とは？」という問いをめぐって、抜本的な議論を例会で重ねてまいりました。

今年度は授業、生徒指導、キャリア教育そのほかクラス・学校運営など、学校や教員の向き合っている現実の問題を切り口に、委員それぞれが得意な分野あるいは興味関心のある分野から調査や研究を進めるアプローチ方法を取り、例会で議論を深めてまいりました。

当日は、テーマ別グループでのディスカッションにおいて委員それぞれが成果の一端をご報告するとともに、参加者の皆さまとも一緒にテーマを通じて、教育のあり様、未来、原点について思いを巡らす場になればと考えております。

教育が大きく変わろうとしている今、根本に立ち返って現場を担う私たち教育実践者にしかできないことについて、そして私学教育の真価について、皆さまとともに議論を深めるよい機会になれば幸甚の至りです。コロナ禍において授業のオンライン化が進んだ状況も踏まえながら、しっかりと地に足のついた幅広い論議の中で「未来の教育」について一緒に考えてはみませんか。

校務ご多用中とは存じますが、教科・分掌を問わず、多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 日 時 令和3年3月20日(土) 16:00 ~ 18:00 (ログイン受付15:45~)

2. 会 場 オンライン Zoom ミーティングにて実施

3. 内 容 ~未来の学校を考える~

〈未来の学校を考える〉という大きなテーマのもと、確固たる結論に到達したわけではありませんが、その中からみえてきた柱のひとつが『からだ』です。この『からだ』とはいわゆる「身体」ではなく、精神なども含めた「まるごと一つの個人」という意味で、『からだ』が育つことが教育の目標であり、『からだ』を育てることが学校の存在価値であると私たちは考えています。この『からだ』というキーワードをもとに、『からだ』を通しての教育や未来の学校を考えたいと思います。

梶取 弘昌 特別調査研究会委員長 (武蔵高等学校中学校)

(1) 開会あいさつ

(2) 趣旨説明

武井 秀行 (かえつ有明中学高等学校)

(3) テーマ別グループでのディスカッション (発表/質疑応答)

当研究会委員が下記に掲げるテーマに分かれ、委員それぞれから今年度の活動において取り組んできた研究の意図や内容等を発表させていただくとともに、参加者の皆さまと共に、私たち教育実践者が自由に意見交換をする場になればと願っています。現在の教育現場を踏まえた各テーマを切り口にするので具体的に、そしてそれぞれの学校を超えてのディスカッションを通じて、「未来の学校」について一緒に考えませんか？

予定テーマ

A: 哲学する「からだ」

「ハコ」としての学校はどうなるのか。「哲学する」授業から未来を考えます。

「哲学する」とは常識を疑い、自分の頭でじっくりと考え直すことです。

考えるためには「言葉」と「身体」が必要です。「からだ」を通して未来の教育を考えたいと思います。

担当委員: 梶取 弘昌 (武蔵高等学校中学校)

石川 直実 (東洋大学京北中学高等学校)

芦村 紋子 (多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校)

B：真正の教育・授業の質的転換

未来の学校が今後どのように変化していこうとも「授業」という「時空」はなくなりません。ゆえに授業の「質」の議論、その真正性の追求は学校にとって欠かすことのできないものです。生徒の現状や時代状況を踏まえつつ、多様な授業論と授業実践者に求められる諸条件について考えたいと思います。

担当委員：松本祐也（岩倉高等学校）
武井秀行（かえつ有明中学高等学校）

C：主体性を育てる

委員の学校での面談を中心とした取り組みを発表した後で、参加された先生方の取り組みも踏まえながら、どのように主体性を育てるのかを考えたいと思います。

担当委員：小泉信治（明治学院高等学校）
原 匠（足立学園中学高等学校）
川端真理子（多摩大学目黒中学高等学校）

D：発想の転換

“You can lead a horse to water but you can't make him drink.”

「〇〇を水の所まで連れていっても水を飲ませることはできない。」イギリスの諺です。

「水を飲ませる方法」ではなく「水が飲みたくなるような方法」を一緒に考えたいと思います。

担当委員：野口大輔（東海大学付属高輪台高等学校・中等部）
齋藤祐（中央大学附属中学高等学校）

(4) 活動報告と全体まとめ

梶取弘昌（武蔵高等学校中学校）

(5) 閉会あいさつ

4. 参加費 無料（当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）

5. 申込方法 3月16日（火）までに東京私学教育研究所HPよりお申込みください

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)



東京私学教育研究所 特別調査研究会 担当：佐瀬・板澤

TEL 03-3263-0544

6. 参加方法 3月17日(水)以降に、申込時にご入力いただいたアドレス宛に Zoom ミーティング登録用の URL 等、本研修会参加に際して必要な事項を記載したメールを entry@tokyoshigaku.com よりお送りします。3月19日(金)までに届かない場合はご連絡ください。

令和2年度 特別調査研究会 委員名簿

	支部・学校名	氏名		支部・学校名	氏名
1	⑩ 武蔵高等学校中学校	梶取 弘昌	6	⑥ 足立学園中学高等学校	原 匠
2	② 東海大学付属高輪台 高等学校・中等部	野口 大輔	7	⑥ かえつ有明中学高等学校	武井 秀行
3	② 明治学院高等学校	小泉 信治	8	⑦ 多摩大学目黒中学高等学校	川端真理子
4	④ 東洋大学京北中学高等学校	石川 直実	9	⑪ 多摩大学附属 聖ヶ丘中学高等学校	芦村 紋子
5	⑤ 岩倉高等学校	松本 祐也	10	⑫ 中央大学附属中学高等学校	齋藤 祐



研究所だより

研究会・研修会	テーマ・内容	日時	会場
学校安全・健康教育研究会「合同講演会」	COVID-19 流行下に考える、学校防災と感染症	3/1 (月) 17:00～19:00	オンライン (Zoom ウェビナー)
初任者研修 「テーマ別研修会」	『新学習指導要領』と『建学の精神』	3/2 (火) 18:00～20:00	オンライン (Zoom ウェビナー)
教職員資質向上研修 「著作権研修」	オンライン授業と著作権	3/5 (金) 18:00～19:30	オンライン (Zoom ミーティング)
文系教科研究会 (外国語) 「講演会」	“with/after コロナ”時代の英語教育のあり方を模索する	3/12 (金) 17:00～19:00	オンライン (Zoom ウェビナー)
理数系教科研究会 (理科・化学) 「実験研修会」	準備が容易な生徒実験・演示実験の紹介	3/13 (土) 14:00～16:00	オンライン (Zoom ミーティング)
文系教科研究会 (国語) 「研修会」	コロナ禍の現代社会と哲学 ～身体性、知の民主化、責任～	3/15 (月) 17:30～19:30	オンライン (Zoom ミーティング)

- オンライン研修にあたってのお願いと注意事項をホームページに掲載しておりますので、ご確認の上、お申込みをいただきますようお願い申し上げます。
- Zoom 利用が初めての場合は、当日研修で使うインターネット環境と PC 等を使って、事前に接続テストを行うことをおすすめします。テスト用 URL (<http://zoom.us/test>)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響や災害等の事由から、やむを得ず配信方法の変更や急きょ配信を中止する場合がございます。何卒ご了承ください。